

夕刊東北日報

本紙一月二角 郵税二角五分
本紙一月二角 郵税二角五分
本紙一月二角 郵税二角五分

復讐なる社會相の過きの中にうごめく近代人はあまりに其の生活に疲れ切つてゐる。緊張した近代人は其の生活の中に享樂を求めず、復讐から復讐への綾の中で享樂へのあこがれをもつて陰惨な暗へ忍従的生活を續けてゐるのがある。此の近代人の生活を光と影とに分けて見ると、自然が存在するだけだ。冬眠から醒めた自然が春を齎らし南枝の梅がほころびをめたと傳へる花信は、どんなにか人々の心に清氣を與へた事か、更らに、更らに、櫻花がケンランの美を誇る時に至つては、心が踊るのを禁ずる事が出来ない、それは要するに生活に疲れた近代人の享樂の標的を自然即ち櫻花に置くからである。平町の花の名所の一つである新川堤の櫻は河川改修の爲めに取除かれるとの事だが大都會としての發展性を持ち近代文明の中心地となり多くの生活者を收容せんとする平町として櫻花の名所を此の地上から葬り去る事は當を得た策とは思はれない、化學の進歩と文明の發達は却つて近代人

噂から出て来る 平町議の顔振れは 新顔だけでも立派に 五十名を突破する

六十日の間に直面した平町議の希望である處が町議戦は普通第一回の開内正一君あたりは白羽の旗を立ててゐるが同君は町の亂立を豫想されてゐる三井文吉や山崎孝之助君に於てその候補者の顔振りを譲つて固辭してゐるから結果も此處旬日を出でず決定其局三井、山崎兩君の何れかの運動も幾分表面化するでにお鉢が廻ららしい三井君ならうと言はれてゐるが候補者は定員の三十名に對し四十五名か五十名位と見られ其の内現議員の出馬は十名内外である事本紙既報したが其の後確實に出馬を豫想される人々を見ると長橋町で川崎文治君研町で吉村安次郎君大谷要次郎君などの呼聲高く材木町で石山治三郎君それに柳下元吉君などの目をつけてゐる又水防委員に於て最後の活版屋の佐藤作平君が出るのも疑ひない又才地小路下長橋町、新川町間長七百五十間に對し、川中を全部は阿部政右衛門君が捲土するの意氣で出馬し森本、吉現在の倍の五十尺に北側出、野崎などの現町議も間の元郡役所に面した櫻は遠いとはいふが木條三郎君に馬目太郎氏又二丁目からは柏原君は確實に再出馬同町は二人の公認候補者を出

長橋、新川町間の 新川を川巾五十尺に 櫻は郡役所側を保存し 南側を伐採して擴張

種々問題となつた平町新川の改修は去る二十八日の悪天候に於て中止となり、水防委員に於て最後の決定を見たがこれによると、長橋町、新川町間長七百五十間に對し、川中を全部は阿部政右衛門君が捲土するの意氣で出馬し森本、吉現在の倍の五十尺に北側出、野崎などの現町議も間の元郡役所に面した櫻は遠いとはいふが木條三郎君に馬目太郎氏又二丁目からは柏原君は確實に再出馬同町は二人の公認候補者を出

大敷網最後のわざ 貸借契約確認の辨論 平區裁判所公判廷で 來る四月十六日開廷

小名濱大敷網の最後の鍵を並に損害十八萬圓請求訴訟と認められてゐる高橋は二十九日平區で開廷の筈だが對白井氏並に小名濱漁業であつたが種々の都合で來組の大敷網貸借契約確認の四月十六日に延期された

平町青年訓練所は 成績大いに振はず 原因は矢張り經濟關係で 入學期を控へ幹部面喰ふ

平町に於ける青年訓練所はとり入所及び出席に就て極力勧誘を盡す事に定めた四月一日の入所期を控へておるにも拘らず成績は割合に不良な爲不振の状態にある原因を調査中であつたが此の程市内の訓練所は物質的に恵まれてゐないこと即ち郡部では町費又は其の他後援団体等から補助を得て團服その他必要器具を與へて積極的に指導してゐるが富町ではそんなことがないから従つて服装等の關係があり經濟が豊かでない者は自然入所を怠り又は欠席するやうになると云ふ事判明したが訓練所は經濟上到底それ等の施設をすることは至難で他に適當な方法がないので取次訓練所に監督委員部を設置し若干名の委員が平素訓練所と連らく

無許可で 川砂利採取 監督所嚴重取締る 内務省並に縣において管理した結果行政區長の報酬は有給と見なさぬから區長は可にて砂利採取するものがして立候補する場合其の非常に多くなつて來た爲縣區に於ては選舉運動をなす事出來ないが然し立候補前に區長重取調方を依命したので同監督所では係員を派し嚴重取締を行つた處鮫川の五人を筆頭として違犯者實に卅余名の多きに上つたので同法による事とならうしいが違犯者に對しては採取數量を調査した上金額料金を徴取した外採取理由如何によつては更に罰金處分にもする筈である

産業組合の 表彰式。今日郡衙で 産業組合石城郡會では郡内優良組合並に功勞者を表彰する事になり三十日午前十時から平町元郡會議室で舉行したが表彰者は ▲植田信用組合 ▲小名濱草野恒也 ▲植田町佐川正雄 ▲江名開澤辰之助 遠藤數馬

意見の一致を見た 行政區長の被選舉權 立候補前に名譽職を 辭職すれば差支なしと 町村會議員再選に際し報酬を貰ふ平町の行政區長に選

權があるか否かに疑ひが生じ平署で頭を悩ました問題は、既報したが其の後同問題に就き種々研究した結果行政區長の報酬は有給と見なさぬから區長は可にて立候補する場合其の非常に多くなつて來た爲縣區に於ては選舉運動をなす事出來ないが然し立候補前に區長重取調方を依命したので同監督所では係員を派し嚴重取締を行つた處鮫川の五人を筆頭として違犯者實に卅余名の多きに上つたので同法による事とならうしいが違犯者に對しては採取數量を調査した上金額料金を徴取した外採取理由如何によつては更に罰金處分にもする筈である

ラツパで舊主人を吹飛ばす 栃木、の高橋辰雄 東京市小石川區白出生れ當時住所不定活動寫眞樂手高橋辰雄(二二)は栃木縣下都郡小山町帝國座事神保太郎氏方に雇れ中去る二十八日午後二時頃同家からラツパ一個を窃取して逃走平町小田洋行方に潜伏中逮捕

波浮の港

原作者 川口松太郎
脚色者 小林正
監督者 木藤茂
主演 徳川良子
竹久新
東勇路
澤蘭子

その翌日晴れ渡つた群青の漁村を前に孝二がカンバスを立てた所は皮肉にも波浮村とは敵同志の野増村であつた、その村に咲いた一輪それは美しいみどりであつた。若い二人は憎しみを越えて自然の戀が芽生へた。二人は波浮の港の御神燈の

帝都からの巡航船がいま波浮の港に着いた、その甲板然し俊二には既に彼を思つたの上に立つて涙ぐんでゐる若人、それは何年か前幼き思ひ出を残して獨り東京へ歸つた、俊二とみどりの激繪を學びに出た俊二であつた、そこへ兄の俊平が迎ひに來てゐた。

幾年振りかで兄弟は睦しく小舟の中、鵜の鳴く磯に近づいた時、かねて波浮の港が野増の村の感と漁場のことからいみ合情の和らぐ時は來た、美しつてゐる野増村の漁船と突し二人、戀人は全村の人達に祝福され、がらしくも俊二は兄の口からこの平和鹿島立して行くのであつたな漁村にも不安な空氣のあ

理想的な蒸氣洗濯!

洗濯物なら...

迅速... 丁寧... 確實を...

モットーにする!

驛前白銀町通りの

平ランドリー洗濯店へ

平町紺屋町(縣社通り)
宴會席の設備あり
小宴會 歓迎す

美味で評判の **イブキ會堂**
電話四六〇番

二十九日替り 巨彈 巨彈

帝キネ現代劇 里見明 吉田豊作 主演

未來の大臣
濱田格 中村獅歌平 助演

マキノ特作 壽々喜多呂九平原作

仇討制度
實川善雁主演 根岸東一郎 大林梅子 助演

米國メトロゴールドウヰン映画

原案 トーマスハーデー翁

悲劇 受難のテス
ブランテヌウイット嬢 主演

大帝キネ超特作 松本田三郎 二役主演

喜八と稻葉小僧
奇傳 實川延松 嵐璃徳 松枝鶴子 尾崎静子 助演

歌米映画自由撰 帝キネ マキノ 有聲座
金十錢 優待券御利用下さい

電話開通披露

支那料理の御注文は...

電話七五九番へ

南町中ノ湯前

華香亭

出前持は迅速親切をモットーです

祝 創刊

福島縣立回春園

川井重之

進級學生靴景品附大特賣

御用命は... 一直線に大塚へ!

- 中學校... 通學靴
- 女學校... 通學靴
- 小學校... 通學靴

◆豊富に而も廉價に實用品を揃へて居ります
◆御來店をお待して居ります

各學校(御用) 大塚支店
製靴部 運動具部
平町田町 電話七〇二番

魚清

魚がしの壽司と天金の天ぶらが
平二丁目...
で食へる
平館際 電六三三番

高級車貸切

小名濱 上遠野
入遠野 東白河郡
大原 平 行
貸切乗合...
湯本驛前

高岡自動車部
電話五七番

洋服の御用命は

是非... 田町の
大崎(電七二三)へ
御問合せ下さい

福島縣平町

山崎合名會社

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

上野車坂四三
東京支店
電話(下谷)五七二番
振替東京六八三一二番

材木店

平町五丁目
店主 瀧口 豊

仁壽生命

日本最高の利益配當ある
昭和三年度 最高四割五分
配當率 最低四分五厘

◎外務社員數名招聘
仁壽生命保險株式會社
平 監督所
平町大字六番地

生徒募集

産婆看護婦
申込期日 四月八日(無試験)
資格... 高等卒業以上

私立平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番